

# 2018

Feminist counseling  
For women support

# フェミニストカウンセリング

## 専門講座

5日間  
全10回

2018  
9/19 [水] - 11/14 [水]

10:30~13:00 / 14:00~16:30

※第3・4回は10月4日(木)です。

※9月19日はオリエンテーション(10:00~10:30)、  
11月14日は修了式(16:30~17:00)があります。

女性の自立とエンパワメントのための心理的援助を行うために必要な知識と技術を学ぶ専門講座を開催します。当講座はドーン財団の主催により、1996年から実施している人材育成プログラムです。

フェミニストカウンセリング全般についての理解を深めるとともに、女性の置かれている状況やそこに起因する心理的問題について考えます。各回は専門家による講義を中心に進めます。今年度は、特に女性に対するさまざまな暴力、DVや性暴力、虐待サバイバーへのサポートのあり方に重点を置いたプログラム構成です。

全10回中8回以上受講された方には、修了証書を発行します。



会場 **ドーンセンター セミナー室1(5F)**

(大阪府立男女共同参画・青少年センター)

大阪市中央区大手前1-3-49

定員 **40名**

受講料 **30,000円** (各回5,000円、当財団賛助会員は10%割引)

※一旦お支払いされた受講料は返金できませんのでご了承ください。



・京阪天満橋駅、Osaka Metro (旧大阪市営地下鉄) 谷町線天満橋駅 ①号出入口から東へ約350m  
・JR東西線大阪城北詰駅 ②号出入口から西へ約550m  
・シティバス(旧大阪市営バス) 京阪東口からすぐ

主催 **ドーン財団(一般財団法人大阪府男女共同参画推進財団)**

# 2018 Feminist counseling For women support フェミニストカウンセリング

## 専門講座

対象

女性を対象とした相談事業やメンタルヘルスに関する事業に関わっている人  
カウンセリングの基礎知識があり、フェミニズムの視点に立った女性への心理的援助に関心がある人

考  
える

フェミニストカウンセリング全般に対する理解を深め、  
女性の置かれている状況やそこに起因する心理的問題について考える。

知る

今、社会の中で重要で必要な  
テーマの現状と課題を知る。

学ぶ

DVや性暴力、虐待サバイバーへの  
サポートのあり方を学ぶ。

10:00-10:30 オリエンテーション

9/19 [水]

第1回

10:30~12:30

なぜ「フェミニストカウンセリング」が  
必要か

いのうえまよこ  
講師：井上摩耶子  
(ウイメンズカウンセリング京都代表)

同志社大学大学院文学研究科修士課程修了。心身障がい  
児通園施設、高等学校での心理カウンセラー、大学講師を経て、1995年9月より「ウイメンズカウンセリング京都」代表。カウンセ  
リング、サポートグループ活動とともに、性暴力・DV被害者の  
ための法廷での代弁・擁護活動に取組む。著書に『フェミニス  
トカウンセリングの実践』(2010年、世界思想社)がある。

第2回

14:00-16:30

母と娘の関係～幻想と呪縛～

かとういつこ  
講師：加藤伊都子  
(フェミニストカウンセリング堺フェミニストカウンセラー、  
NPO法人ふえみばる堺代表)

フェミニストカウンセリング堺及び自治体の相談室でフェミニスト  
カウンセリングを行うほか、女性のための自己主張・自己尊重ト  
レーニングのグループトレーナー、サポートグループ・CRなど女  
性のための語り合いグループのファシリテーター活動を行う。また、セクハラ・DV防止研修、被害者支援活動を行うとともに子  
育て支援に取り組む。著書に、『私は私。母は母。～あなたを  
苦しめる母親からの自由になる本(すばる舎、2012年)』



10/4 [木]

第3回

10:30~12:30

DV被害者の心理と心のケア

かわきたよしえ  
講師：川喜田好恵  
(日本フェミニストカウンセラー協会代表、  
ドーン財団カウンセラー)

組織開発、人間関係トレーニングなどに関わった後、米国の  
大学院でカウンセリングなどを学ぶ。帰国後、1981年より大阪  
府立婦人会館カウンセラーなどを経て、1994年ドーンセン  
ター(当時の大阪府立女性総合センター)設立当初から  
2009年3月まで、相談担当コーディネーターを務める。日本D  
V防止・情報センター運営委員などを兼務。大学でジェン  
ダー論などの講座を持つ。

第4回

14:00-16:30

診療内科からみえる女性の悩み  
～心身症・うつ・摂食障害等～

ふじたみつえ  
講師：藤田光恵  
(ふじたみつえクリニック院長)

平成15年から、京都市内で「ふじたみつえクリニック」を開  
設、心療内科医として診療している。心身症、うつ病、不安障  
害、摂食障害などの女性患者が多く訪れている。個人の問題  
だけでなく、社会の中で女性がおかれている状況を理解し  
ながらの治療を心がけている。

10/17 [水]

第5回

10:30~12:30

女性の心とからだ  
～リプロダクティブ・ヘルス・ライツの  
視点から～

たかだまさよ  
講師：高田昌代  
(神戸市看護大学教授、助産師)

女性の健康、妊産婦の助産ケアを行う助産師として病院や  
地域で活動後、助産師教育、看護師教育に従事。思春期ピ  
アカウンセリング研究会でピアカウンセラー養成者として中学  
校・高校において活動するほか、不妊や不育症、高齢出産、  
人工妊娠中絶、月経困難症など、月経・出産を取り巻く現状に  
対して、自分のからだを知る、大切にすることの相談・啓発活動  
などを行っている。

第6回

14:00-16:30

法と司法に潜むジェンダー

よしだようこ  
講師：吉田容子  
(弁護士(市民共同法律事務所))

主要著書に、「人身取引一防止の観点から(ジェンダー法学  
会編)」、「講師ジェンダーと法 第3巻 暴力からの解放」  
(2012年、日本加除出版)、「日本における性犯罪の被害実  
情と処罰に関する問題」(日本刑法学会)、『刑法雑誌』(54  
巻1号、2014年、有斐閣)、「弁護士へのジェンダー教育」(浅  
倉むつ子責任編集)、『ジェンダー法研究創刊第1号』(2014  
年、信山社)など。立命館大学法科大学院教授、日弁連両  
性の平等に関する委員会委員

10/31 [水]

第7回

10:30~12:30

多様な性  
～当事者・家族への支援と課題～

しぎょうてるこ  
講師：執行照子

(NPO法人日本フェミニストカウンセリング学会代表理事、  
NPO法人フェミニストカウンセリング神戸理事)

1998年に数名の仲間と「フェミニストカウンセリング神戸」を立  
ち上げ、2005年度まで代表を務める。2006年「NPO法人  
フェミニストカウンセリング神戸」設立後は、理事として活動。  
『フェミニストカウンセリング研究(日本フェミニストカウンセ  
リング学会「フェミニストカウンセリング」編集委員会 編)』に数多  
くの執筆を行っている。日本フェミニストカウンセリング学会認定  
フェミニストカウンセラー

第8回

14:00-16:30

DV被害者のソーシャルワークと  
母子支援

ますいかなこ  
講師：増井香名子

(大阪府立大学客員研究員、博士(社会福祉学))

地方公共団体の社会福祉職として支援業務に長年従事。  
大阪府立大学大学院でDV被害者支援について研究し、  
2017年博士取得。内閣府事業等において研修講師を務め  
る。2016年内閣府「配偶者暴力相談支援センター等におけ  
る取り組み事例検討委員会」検討委員。社会福祉士・精神  
保健福祉士国家資格所持。

11/14 [水]

第9回

10:30~12:30

性暴力・DV被害者への医療

かとうはるこ  
講師：加藤治子

(NPO法人性暴力救援センター・大阪(SACHICO)代表、  
阪南中央病院産婦人科医師)

1975年から阪南中央病院(大阪府松原市)に産婦人科医として勤務。早くから  
「女性の一生を生活背景も含めて診ることのできる科」を目指す。診療現場でDV  
やレイプ被害者に接する中で、性暴力は女性の心とからだを深く傷つけ、人間とし  
ての尊厳を脅かす、人権問題であり、医療問題であると認識するようになった。女  
性への暴力にも取り組める女性外来として、2004年から「はるこウイメンズクリニック」  
を開設。2009年6月、「女性の安全と医療支援ネット」準備室を、産婦人科医師・  
精神科医師・法医学者・弁護士・カウンセラー・ウイメンズセンター大阪などの草  
の根の女性活動家達と立ち上げた。ネットワークの拠点として、2010年4月阪南中央  
病院内に「性暴力救援センター・大阪SACHICO」を開設、代表を務める。

第10回

14:00-16:30

トラウマカウンセリングと  
フェミニストカウンセラーの役割

かわきたよしえ  
講師：川喜田好恵  
(日本フェミニストカウンセラー協会代表、  
ドーン財団カウンセラー)

16:30-17:00 修了式

8回以上受講された方には修了証書を発行します。

受講申込書または申込書の①～⑧を記載したものを、メールまたはFAX、郵送にてご送付ください。 ※受講申込書は当財団ホームページからダウンロードできます。

①受講を希望する回に○を付けてください。

全回	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
----	---	---	---	---	---	---	---	---	---	----

②氏名	フリガナ			
③所属	勤務先、現在所属している団体など			
④連絡先	<input type="checkbox"/> 勤務先・所属団体など		<input type="checkbox"/> ご自宅	
	都道府県		市町村	
	TEL		FAX	
	E-mail			
⑤受講決定通知方法	<input type="checkbox"/> FAX		<input type="checkbox"/> E-mail	

⑥相談業務等の経歴

⑦受講動機、学びたいと思っていることなど

この申込書をもとに「受講者名簿」を作成し、配付してよろしいですか。

ここに記載された個人情報は厳重に管理し、本講座の運営に関してのみ使用します。

お名前：（はい・いいえ） 所属：（はい・いいえ）

特別プログラム  
予告 グループ・スーパービジョン「暴力被害を受けた母子への支援」

DV・虐待への理解、母子の包括的支援について事例を通して考える

女性相談・児童相談・メンタルヘルス等の支援に携わる方、福祉・保健医療・教育等の現場で暴力の被害者や子どもに出会う方などを対象としたグループ・スーパービジョンを開催します。

経験豊富なスーパーバイザーとともに経験・知識の共有を行い、援助職の資質と専門性の向上を図ります。

日 時：11月22日/12月6日/12月13日（木曜日） 13:30～16:45（全3回）

会 場：ドーンセンター 4階 中会議室

スーパーバイザー

岡本正子（児童精神科医・大阪教育大学学校危機メンタルサポートセンター共同研究員）

増井香名子（社会福祉士/精神保健福祉士・大阪府立大学客員研究員）

詳細は  
ドーン財団  
まで

お申込み・問合せ先



ドーン財団

ドーン財団（一般財団法人大阪府男女共同参画推進財団）

〒540-0008 大阪市中央区大手前1丁目2番15号 大手前センタービル12F

TEL 06-6910-8615 FAX 06-6910-8624

E-mail jigyo@dawn-ogef.jp URL http://www.dawn-ogef.jp

